

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立地域包括支援センター白金の森 (高輪地区高齢者相談センター)						
指定管理者	社会福祉法人奉優会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	ー
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	11	11	0	0	0	0		11
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	3	4	1					

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
総合相談件数（件）	18,845	19,998	15,554			
予防プラン作成件数（件）	4,641	4,545	4,685			
訪問件数（件）	1,501	1,411	1,086			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	66,706,221	67,251,918	74,293,932	0	0	
	指定管理料（清算後）	60,976,795	60,880,287	68,204,694			
	利用料金収入	5,729,426	6,371,631	6,089,238			
	その他収入	0	0	0			
	支出	62,871,825	69,115,803	75,198,257	0	0	
	職員人件費	56,701,684	57,410,253	61,159,212			
	光熱水費	1,162,738	828,310	997,056			
	修繕費	0	0	79,200			
	事業運営費	4,010,06	4,735,054	5,117,058			
	施設管理経費	978,403	967,370	1,073,055			
その他経費	4,029,000	5,174,816	6,772,676				
差引収支額		3,834,396	-1,863,885	-904,325	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		60,976,000	61,257,455	68,360,836			

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / 5	- / 5	×1	- / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						75 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	利用者の声を事業に反映できるようアンケートを実施し、地区内のいきいきプラザ等と共同でアンケート結果を反映した講座を実施しました。また、予防給付の利用者を対象に満足度調査を実施し、職員の質の向上や業務改善に取り組みました。 専門職としてのスキルアップや新しい知識取得のための研修を、計画的に職員が受講できるよう調整しました。法人内研修では、初任者向けの研修や職種ごとの研修、高齢者相談センター内ではチームミーティング等学びの機会を作り、職員のスキルアップと定着支援に努めました。また、個人情報保護やハラスメント対策については、高齢者相談センター内での研修開催の機会を設け、法令の遵守や適正な運用の重要性の認識とともに、法人内で法定研修を年1回実施し、更に理解を高めることができました。 白金の森施設全体としても、ケースワークや各種勉強会の開催等に取り組み、施設間での交流を図り連携強化に努めました。
区（施設所管課）による評価	関係機関と連携して、利用者の要望を積極的に取り入れ、現行事業の改善を図ることができました。 職員のスキルアップを目標に、包括内での勉強会の開催や研修に参加しやすい職場環境を整え、専門性の高い内容や様々なジャンルの研修を受講させ、各自の学びを共通の認識とし、学んだことを日々の業務に生かしています。 更なる区民サービスの向上が図られるよう、引き続き、指定管理者独自の取組を積極的に取り入れるなど、指導していきます。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）